

カーボンリサイクル・火力発電の脱炭素化技術等国際協力事業

資源エネルギー庁資源・燃料部
石炭課

令和5年度予算額

4.0 億円 (6.5 億円)

事業の内容

事業目的

2050年カーボンニュートラルに向け、カーボンリサイクルは経済と環境の好循環を実現する鍵であり、グリーン成長戦略においても重要分野と位置づけられています。我が国の優れたカーボンリサイクル技術等に関する国際協力や海外展開を行うことで、世界規模での脱炭素化に責任を持って取り組むことができ、火力発電については使わざるを得ない状況の国々もあるため、相手国の発展段階に応じた政策形成に建設的に関与し、火力発電の脱炭素化について各国と協力を実施します。相手国関係者の招へい、人材育成、専門家派遣、技術交流・調査、国際会議やセミナー等を通じて実施し、令和4年から令和8年までの5年間を通じ、5件以上の案件の成立を目指します。

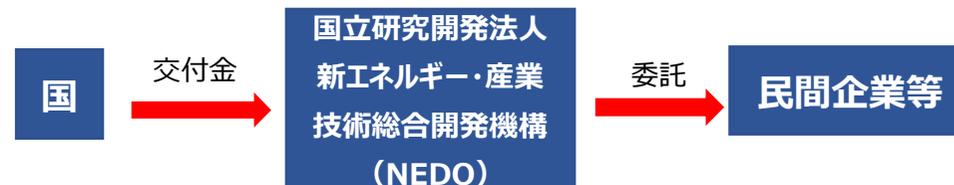
事業概要

カーボンニュートラル実現に向け、我が国企業等有する優れた技術、実施している技術開発や社会実装に向けた取組を活用しつつ、世界各国と協力し、以下の取組を行います。

(1) カーボンリサイクルについて、各国の事業関係者の招へい、技術交流・調査事業、会議・セミナー開催等を通じて、我が国カーボンリサイクル技術等の国際的な展開及び各国における技術の導入のための環境整備を目指し、世界規模での脱炭素化に貢献します。

(2) 各国のそれぞれのエネルギー事情に鑑み、エネルギーtransition下において、既設の火力発電所の改善を含め、我が国の火力発電の脱炭素化技術に関心を有する国々に対し、相手国政府や電力事業関係者の招へいやセミナー、人材育成や専門家派遣等を通じ、脱炭素化に貢献するような先進的な技術の導入のための環境整備を行います。

事業スキーム (対象者、対象行為、補助率等)



2022年9月
第4回カーボンリサイクル産学官国際会議



2022年3月
ASEAN地域各国とのHELEセミナー

成果目標

令和4年度から令和8年度までの5年間の事業であり、最終的には各国等との間で、5件以上の我が国技術等を活用したプロジェクトや案件の成立を目指します。